

JBC史上最強の
マッチレース。スマートファルコン
2011年JBCクラシック、ダート交流重賞6連勝中の
スマートファルコンと、ドバイWC2着のトランセンドが、
遂に直接対決。最後の直線、逃げるスマートファルコンを
トランセンドが猛然と差を詰めるも、わずかに馬身届かず。
他馬はまるで眼中にないような
究極のマッチレースが繰り広げられた。

日本の
ダート競馬の夢、
ここにある。

名牝
ロジータの孫、
レギュラー
メンバー
初代

2001年JBCクラシック。日本の生産者の夢をのせて、すべての
競馬ファンの希望をのせて、ダート競馬の祭典、
JBCが開幕。初開催は大井。
かつて南関東の三冠に輝いた歴史的名牝、
ロジータの孫が
JBCクラシックの初代王者に輝いた。

GI9勝の怪物、
ヴァーミリアン

2009年JBCクラシック。逃げ切りを図る
マコトスバルビエロ、外から差してきたワンダースピードとの
三つ巴のデッドヒートを制したのは、ダートの怪物、JBCクラシック三連覇、
ヴァーミリアン。これでGI8勝目、年明けの川崎記念を合わせ
前人未到のGI9勝の偉業を成し遂げた。

悲願達成。
地方馬初のJBC制覇。
英雄、
フジウェーブ

2007年JBCスプリント。JBC開幕以来、
クラシックスプリントともにJRA勢の
6連勝。この年も地方馬劣勢
という予想がされる中、
奮起したのが
大井のフジ
ウェーブ。見事クビ差の
激戦を制し、地方競馬関係者
の悲願が達成された。

コパノリッキー、
復活の武豊、
驚愕の通算7勝。

2015年JBCクラシック。
この年の大本命は、GI10勝の大記録に
挑むホッコータルマエ。しかし、JBCクラシック
6勝の武豊と前年王者コパノリッキーのコンビが
立ちはだかる。
レース序盤
から主導権を握り、終始先頭
を譲らずゴールイン。ホッコー
タルマエの夢は、翌年の川崎
記念へ持ち越された。

3歳馬が初の栄冠。
ホワイTFーガが、
大本命の女王を撃破。
2015年JBCレディスクラシック。最終コーナー、人気馬3頭の争い
かと思った刹那、
ホワイTFーガが
内から一気に先頭
に踊り出る。
終わってみれば、2着サンビスタに5馬身差の
歴史的圧勝。JBCレディスクラシック
初の3歳女王が誕生した。

逃げ、
最強の
スマート
ファルコン。
地方の帝王、
フリーオンの夢は遠のいた。

2010年JBCクラシック。この年、前哨戦の日本テレビ盃を制し、
地方馬初の一番人気に支持されたフリーオン。地元船橋開催、
地方ファンの夢をのせて迎えた大一番は、スマートファルコンの「大逃げ」
という予想外の
戦略により悔しい
敗戦となった。

7度目の正直。
ワンダーアキュート
悲願の戴冠。

2012年JBCクラシック。GIではなかなか勝て
なかったワンダーアキュートが半年ぶりの出走。
5番人気に甘んじるも、初出走となる川崎の舞台で、
前2走の惨敗ぶりが嘘かのような5馬身差
の圧勝。7度目の挑戦で、遂に
GI初勝利を取めた。

日本唯一。1日にJpnIレース、3本立て。
〈JBCクラシック〉〈JBCスプリント〉〈JBCレディスクラシック〉
(JpnI) 2100m (JpnI) 1400m (JpnI) 1600m

11.3祝 川崎競馬場